

Improvement Of Teaching Methods(15)

机間指導

校 長

授業中に生徒の机の間を巡って見て回り、躓いている生徒や理解不足の生徒に指導・助言することが机間指導です。机間観察や机間支援という時もあります。教員の行う一斉指導は、どうしても中位の生徒を照準として授業を行っていきます。机間指導は、一斉指導のなかで一人ひとりの生徒を活かす重要な手立てになります。机間指導では、教員は生徒の様子を巡視するだけでなく、生徒一人ひとりを観察して学習の躓き箇所や理解不足の状態を把握し、その場で指導を行うことが大切なのです。また、素晴らしい考えや別解などを取り上げ、クラス全体で共有化することが大切です。

机間指導のポイント

1. 机間指導を計画的に行います。
2. 生徒の学習状況を確認します。
3. 生徒の躓き、共通の間違い、素晴らしい考え方、別解などを見つけ、助言・指導を与えます。
4. 生徒の躓きを予想し、指導の計画を立てておきましょう。
5. すでに終わっている生徒には褒めるなどの声掛けも大切です。
6. 課題等を終えている生徒には応用問題など別の課題も用意しておきましょう。
7. 机間指導をクラス全体の指導に生かします。

注意点

1. 特定の生徒に偏った机間指導にならないように、全体に目配せします。
2. 机間散歩、机間巡視ではなく、机間指導ということを忘れてはいけません。
3. 机間指導で見る観点を決めておきましょう。限られた時間で机間指導をしますと、すべて見ていると一斉指導の時間がなくなってしまいます。
4. 躓いている生徒だけに机間指導することのないように、きちんと取り組んでいる生徒を確認し、声掛けをしましょう。
5. 個々の生徒の指導に時間を取られすぎないようにします。あくまでも全体を意識しましょう。
6. 全体的に学習の進捗状況が遅れていると感じたら、次の学習計画を変更しましょう。